

碧南市婦人消防クラブ 連絡協議会

愛知県碧南市婦人消防クラブ連絡協議会

当協議会は、昭和45年3月に碧南市婦人消防クラブ連絡協議会として発足しました。

私達の住む碧南市は、愛知県の西三河南部に位置しています。温暖な気候と風土に恵まれ、窯業、鋳物、醸造などの伝統的産業と近代的な輸送用機器関連産業などがバランスよく存在し、さらには、商業、農業、漁業とも調和のとれた歴史のある地域です。

当協議会は現在7団体、クラブ員1,125名が所属しています。年間を通して、防火広報、防災講座、救命講習、防災訓練等に参加し、各家庭の防火・防災の意識付けを行っています。

具体的な取り組みとして、今年度の防災講座では、講師の方を招き、「災害時のトイレで大切なこと」と題して、お話ししていただきました。災害時、避難所でトイレに並ぶなどの理由で排泄ができず、我慢することによって、命に係わるこ

もあるということ。さらには、水で流せない不自由さ、備えておくべき物、知識、心構えの大切さを知りました。また、実際に模擬排泄物の処理を体験することにより、災害時のイメージが湧き、防災への意識が高まり、大変有意義な講座となりました。

いつ来るかわからない地震災害等に備え、普段から意識して生活するよう心掛けていきたいと思っています。



矢掛町城江自主防災会

岡山県矢掛町城江自主防災会

城江自主防災会は、岡山県南西部の矢掛町に位置する、中山間地域の約45戸の小集落を活動範囲とした自主防災会です。「自分の命は自分が守る。自分たちの地域は自分たちが守る。」を合言葉に、平成25年に結成され、毎年避難訓練や初期消火訓練を開催し、豪雨、地震、火災等の災害に関する防災講習会も行っています。

組織体制は、自治会役員とは別に構成されています。自治会役員の任期による役員交代が防災活動の継続を難しくすることを考慮し、会の活動主体は防災意識の高い防災士等が担い、継続した活動が可能になっています。現在、12名の防災士が中心となり活動を支援しています。

平成30年の西日本豪雨では、町を東西に走る小田川下流の倉敷市真備町で多くの犠牲者が出ました。我々の城江地区でも、後背地の山から土砂が流出するなどの被害がありましたが、その際に自主防災会の役員が各世帯に避難を呼びかけたことで、人的被害を出さずに済みました。

令和5年4月には、設立10周年記念式典と防災訓練を開催し、お互いの顔が見える良好なコミュニティの中で、地域を守っていこうと誓い合いました。当地域でも少子高齢化が進み、地域活力の減退が懸念されています。今後は、個別避難計画や地区防災計画を策定し、住民全体で災害に強い地域を目指して活動を続けたいと考えています。



令和5年設立10周年記念式典時の役員集合写真